



た

たかいたかーい
ワァーたかーい



生まれたばかりの赤ちゃんは、寝転んで上を向いているので、見える範囲と言えば、首を動かせるようになって、左右の物が見える程度です。

次に、「ごろん」とうつ伏せが出来るようになって、顔を持ち上げたら、その頭の持ち上げ具合で見える景色が変わってきます。

同じうつ伏せでも、肘に体重を乗せて、胸を少し反らせることが出来るようになると、背骨をねじることが出来るようになります。ほんの少し、後ろの様子も見ることが出来ます。

そうこうしているうちに、お座りが出来るようになれば、目の高さもずいぶん高くなり、個人差はあるけれども、いろ

んな物に興味が出てきます。

そこから直ぐに立ちたくなるお子さん
もいれば、遠くにある物を触りたい気持ち
が強いお子さんは、はいはいをいっば
い楽しんだりします。

身体の発達的には、自分自身で獲得した
身体の動きにより、見える景色が少し
ずつ変化していくのがいいのです。けれ
ど、いろんな景色が入ってくると、赤ちゃ
んも楽しいのだらうと思います。“たか
いたかーい”をして貰って、自分では見
ることが出来ない景色を見た赤ちゃん
は、どんな気持ちでしょう。インタビュ
ーしてみたいものです。